

平成28年における死亡災害事例

整理番号	発生日	事業の種類	事故の型 起因物	災害の概要
1	1月	通信業	交通事故 乗用車、バス、 バイク	バイクで郵便物を配達中、橋上の路面が凍結していたため、スリップし転倒、被災者はバイクから投げ出され川へ転落し、溺死した。
2	2月	その他の土木工 事業	交通事故 乗用車、バス、 バイク	店舗の駐車場除雪作業終了後、片側2車線の県道上で除雪作業で使用したドラグ・ショベルをトラックに積み込むため、交通誘導をしていたところ、前方不注意の軽自動車が進み、被災者がはね飛ばされ死亡した。なお、ドラグ・ショベルの運転者も腰部に打撲を負った。
3	3月	木材伐出業	激突され 立木等	同僚が杉の木(樹高30メートル程度)をチェーンソーを使用して伐倒したところ、かかり木となった。しばらくして、かかり木が外れて倒れ、付近で別の立木を伐倒していた被災者に激突し、死亡した。
4	3月	機械(精密機械 を除く)器具製造 業	はさまれ、巻き 込まれ	被災者は、圧力容器の缶体のフランジ加工を行うため、フライス加工機の加工台上に缶体を固定する作業を単独で行っていた。 缶体の固定作業の過程で、被災者は加工台の上に置かれた缶体と缶体を挟み込む治具(半自動バイス装置)との間に頭部がはさまれ、死亡した。
5	4月	新聞販売業	交通事故 乗用車、バス、 バイク	新聞配達中に、被災者が配達先の住居がある車線の反対車線に車を止めて、道路を横断しようとしたところ、対向車線を進行してきた軽自動車と激突した。
6	5月	情報処理 サービス業	交通事故 乗用車、バス、 バイク	出張先の事業場へオートバイで移動していたところ、対向車線から右折しようとした自動車と衝突した。
7	7月	一般貨物自動車 運送業	交通事故 トラック	大型トレーラーを運転中に、緩やかなカーブに差し掛かった際、道路下の河川にトレーラーが転落し、河床の巨石にキャビンが激突した。
8	8月	ゴルフ場	墜落、転落 その他の一般 動力機械	乗用芝刈機を運転し、傾斜地の土手の芝を刈っていたところ、芝刈機ごと土手下のカート路まで転落し、芝刈機の下敷きとなった。
9	8月	プラスチック製品 製造業	飛来、落下 フォークリフト	攪拌機にペレットを入れ、フレコンバックに詰める作業を行っていた際、ペレットの充填のためにフォークリフトで攪拌機を持ち上げたところ、攪拌機が落下し、付近で作業を行っていた被災者が下敷きとなった。
10	8月	機械器具設置 工事業	有害物等との 接触 有害物	純水装置内の点検・補修作業中に、倒れているところを発見された。(詳細は調査中)

平成28年における死亡災害事例

整理番号	発生日	事業の種類	事故の型 起因物	災害の概要
11	9月	木造家屋建築 工事業	崩壊、倒壊 地山、岩石	アパート建築工事において、敷地脇の斜面(高さ3.5メートル)にブロック積擁壁を設置するため、斜面の土砂をドラグショベルで掘削したが、掘削を終了した法面の土砂が後に崩落し、崩落時に法面の下で作業を行っていた被災者が生き埋めとなった。
12	11月	道路建設 工事業	墜落、転落 不整地運搬車	不整地運搬車により荷を所定の箇所に輸送した後、Uターンをしようとしたところ、誤って不整地運搬車とともに道路脇の斜面に転落した。
13	11月	その他の土石 製品製造業	崩壊、倒壊 荷姿の物	2段積みになっていたフレコンバッグ(重量1トン)の1段目のフレコンバッグの側面に、フォークリフトのフォークもしくはパレットの角で傷をつけてしまい、内容物が流出したため補修作業を行っていたところ、0段目のフレコンバッグが崩落し、被災者が下敷きになった。
14	12月	めっき業	はさまれ、巻き 込まれ 動力伝導機構	ニッケル槽の液交換作業を終了後、槽内洗浄で使用した水の排水のため、作業床の下方にあるドレン配管コックを操作していたところ、付近の回転軸(振動装置シャフト)に作業服の袖が巻き込まれ、身体が締め付けられることにより、窒息した。
15	12月	その他の建築 工事業	激突され 掘削用機械	ドラグショベルのバケットで丸太の杭を打ち込む作業を行っていたところ、バケットが杭の上面から外れてドラグショベルがバランスを崩し、キャタピラーの前部が深さ約0.5メートルの溝に落ちて大きく傾き、杭を両手で支えていた被災者の頭部にバケットが激突した。